

優秀賞

キャッチフレーズ

縁側のある暮らし 中と外をゆるりつつなく木の家

応募者 施工：有限会社 浜中材木店 濱中 英治
設計：有限会社 浜中材木店 濱中 賢治

建物概要
建築面積 74.21㎡
延べ面積 128.06㎡ (1階 65.27㎡ 2階 62.79㎡)

設計趣旨

△【風通しのよい、若い家族の生活導線】

多目的な使い方ができる居間の小上りや、子供の成長に合わせて間仕切りを変えていけるようにシンメトリーに子供室を計画。家事をしながら子供の様子を感じられるよう、キッチンから居間を望む配置とした。

△【木造ならではの和の雰囲気を取り入れる】

昔の書院から譲り受けたガラスや框をリユースするなどして、昔ながらの家の風景を取り入れながら、現代の暮らしを考えた設計とした。下屋の軒天井は垂木を尺一寸ピッチで流した竿縁天井とし、多摩産杉の丸桁を配して木のボリュームを出し、木造ならではの和の雰囲気を出した。

△【中と外をゆるりつつなく】

居間のフローリングが外へつながっているように同材でデッキを造り、軒を深く出すことで縁側を生活スペースとして活用できるように計画した。中と外をゆるりつつなく、デッキに腰かけて軒を見上げると、少し贅沢に多摩産材を使った軒天井を見ることができる。

基本は大壁造りとしながらも、木が見える設計プランとし、構造材、下地材から造作、建具材に至るまで、多摩産材の杉と桧を利用している。

各階平面図

